

「スマートシティ実現で増幅するエリアの引力」 ー事業概要ー

(岡崎スマートコミュニティ推進協議会)

■ 事業のセールスポイント

- 自動車依存度の高い地方都市にて、都市再生を加速するまちなかウォーカブル推進に向けたスマートシティ
- まちづくり進捗に合わせたスマート技術やデータの活用により「このまちで〇〇したい」の引力を増幅
- 公共投資(ソフト・ハード)・民間投資に連動したスマート技術の着実な実装と進化
- 都市ならではの都市密度最適化(人流、車流、居住、イベント等)により健全かつ持続可能な発展をモニタリング

■ 対象区域の概要

○名称: 乙川リバーフロントエリア
○面積: 157ha ○人口: 7,800人



■ 都市の課題

まちづくり進捗で公共投資が概成
公共空間活用で拠点人流回復

エリア価値向上加速の必要性

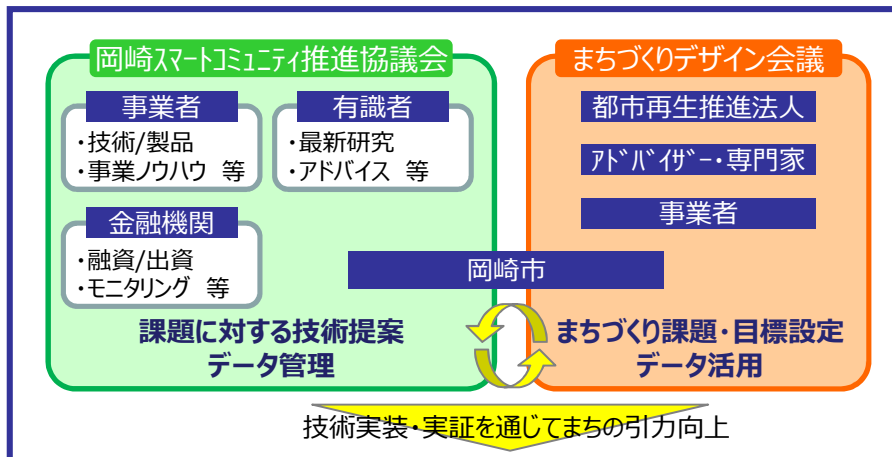
- ・拠点人流のまちなか波及
- ・人流回復で生じる交通渋滞緩和
- ・公民学データ活用で課題解決
- ・老朽化拠点駅の機能向上

■ 解決方法

「スマート技術」と「データ」の活用で課題解決

- 技術活用**
 - ・電動サイクルシェア事業実施
 - ・駐車場満空情報発信
 - ・ウォーカブル補完のグリーンモビリティ
 - ・渋滞状況リアルタイム情報発信
- データ活用**
 - ・3D-LiDARで群衆事故防止や密防止
 - ・AIカメラ人流データ活用で民間投資誘導
 - ・保有データの外部連携で有効活用
 - ・エネマネ低炭素電源供給

■ 運営体制



■ KPI(目標)

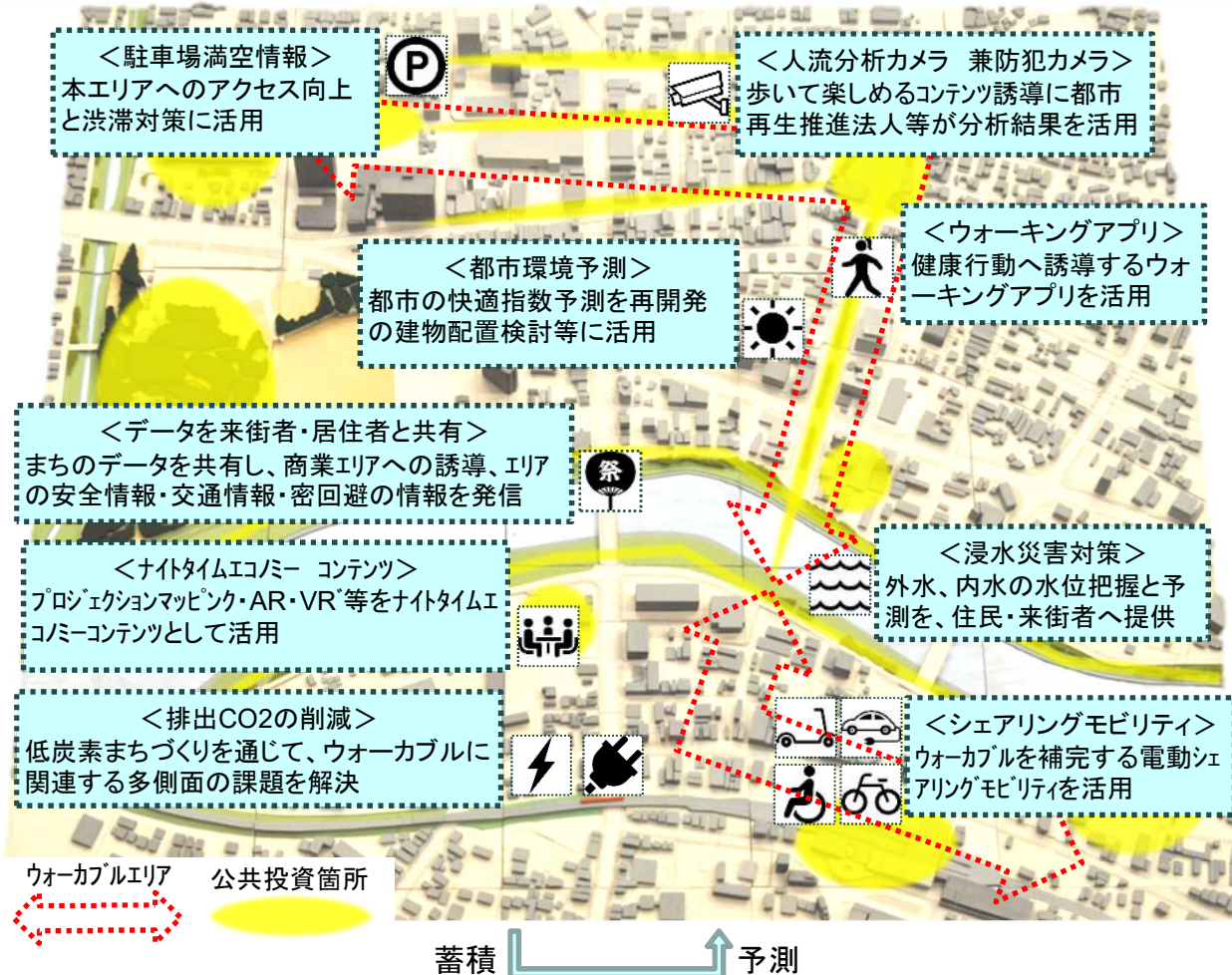
項目	KPI
シェアリングモビリティ年間利用回数 (2019年度19,000回)	3,000回 増加
民間再開発検討件数	累計3件
遊休不動産活用件数	累計30件
人流データとエリアマーケティングソフトの 連携を見据えた実験の増加	2件

達成年度はいずれも2025年

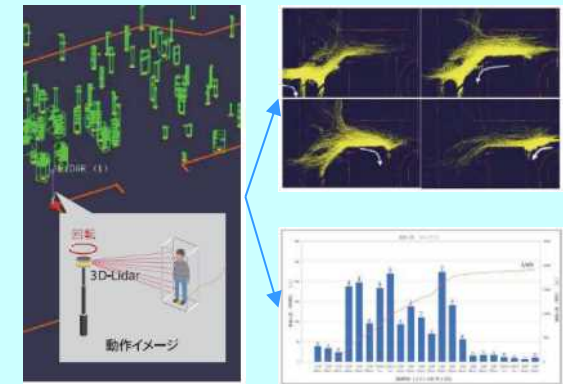
「スマートシティ実現で増幅するエリアの引力」 — 実行計画 —

(岡崎スマートコミュニティ推進協議会)

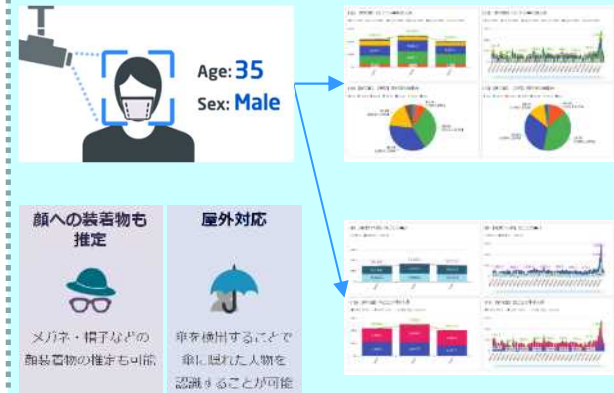
- センシング技術等で人流をはじめとする各種データを取得・利活用し、まちの安全性能・快適性能・環境性能を高め、まちなかウォーカブル推進により都市再生を加速させる。そのために、人流分析カメラ、3D-LiDAR、GPS(個人デバイス・シェアサイクル)、水位計、次世代モビリティなどの技術を、2025年までにエリア内各所で実証・実装する。
- 人流情報がさらなる人流を呼び、またこれにより民間の投資がさらなる投資を呼び込む持続可能な好循環を志向



活用技術例：人流動線把握技術
Data取得機器：3D-LiDAR

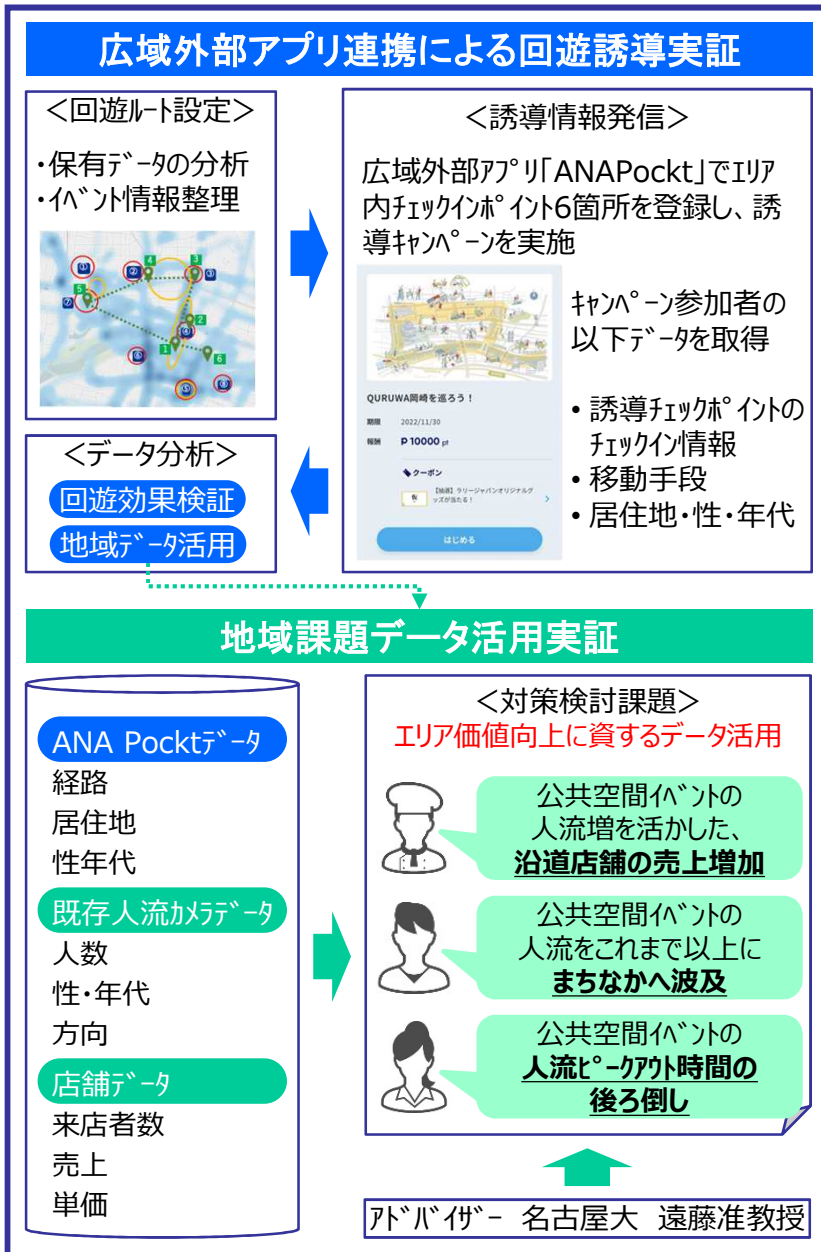


活用技術例：屋外通行人属性把握技術
Data取得機器：人流分析カメラ



データサイエンスオートメーション型AIによる複合的なデータ分析

■ 実証実験の内容



■ 実証実験で得られた成果・知見



- 来街者に当該エリアの独自アプリインストールの手間をかけることなく、既存広域アプリ連携により十分な回遊誘導やデータ解析が可能となることが実証で明らかとなった。これを発展させるには、DB整備や連携基盤の必要性が確認された。
- また、上記を含む地域データ活用では、取組みの継続や、1次分析が可能なダッシュボード構築の必要性が確認された。

■ 実証実験で得られた課題

広域外部アプリ連携による回遊誘導実証

既存広域アプリ連携により十分な回遊誘導やデータ解析が可能となることが実証で明らかとなった。これを発展させるため、以下2点を課題設定

- **広域外部アプリ連携模索・強化**
広域外部アプリとのさらなる連携を模索・強化
- **連携時に必要なDBや基盤の整備**
連携都度の手間を省くためのDB・基盤を整備

地域課題データ活用実証

地域データ活用で明らかとなった以下3点を課題設定

- **地域データ活用の継続・拡大**
 - ・ 2022年度の残課題として、アィキャッチ施策の追加、イベント出店者へのデータ共有等を行い、効果測定
 - ・ 不動産関係者、駅再開発関係者、エリア内他所の指定管理者などの担い手各者へデータ活用の取組みを拡大
- **ダッシュボード構築**
地域データ活用を気軽に行える簡易分析用ダッシュボード整備
- **大学連携**
地域データ活用と連携する大学との関係性を構築

■ 今後の取組：スケジュール

	2023	2024	2025
外部アプリ連携 模索・強化	連携模索・強化		
DB・基盤整備	DB整備	基盤整備	
地域データ活用 継続・拡大	R4取組継続		
	まちづくり担い手各者へ取組拡大		
ダッシュボード 構築		ダッシュボード構築	
大学連携	関係性構築	連携事業実施	